



▲12月25日から3日間、紙しばい作りに挑戦する図書館チャレンジ教室が、市立図書館で開催され、子どもたちは、お手本を見ながら画用紙に書き写し、紙しばいを完成させました。

# まちの様子 広報 topics



※このコーナーは、市内の出来事をご紹介しているコーナーです。広報紙に掲載した写真を無料で差し上げますので、ご希望の方はご連絡ください。

■連絡先 総務課広報情報グループ（市役所3階 ☎42~3212）



▲1月6日、市と商工会議所共催による新年交礼会が公民館で開催され、出席した各種団体、企業の皆さんが新年の初顔合わせであいさつを交わすとともに、地域の発展を願いました。



▲1月3日から2日間、サロモンカップかもい岳ジュニアスキー大会がかもい岳スキー場で開催され、全国から参集した小・中学生が各種目の競技で、熱い戦いを繰り広げました。

## 市民のひろば



### 俳句

#### 会員作品

#### 歌志内俳句会選

夢でなら逢へる父母軒水柱 高瀬 仁孝  
 角樽を膝に抱へて日向ぼこ 岡部 康一  
 母の歳とうに越えたる初詣 石塚 トキ  
 ゲレンデの辺り賑はふ二日かな 大沼 きみ  
 元旦や駅伝に明けウイーンフィ 勝部 貞子  
 ル 後藤 妙子  
 裏山の木々一月の銀世界 吉岡 ゆか  
 凍てつきて開かぬ玄関ハイヤー 来

### 絵手紙

「豆まき」  
藤原 ミツ



柳谷 直明  
 静寂を満たせし部屋は初茜  
 横山 冬青  
 鉛入れの袋忘れず日向ぼこ

ありがとうございます  
ごぞいませ

ふるさと納税  
桶野 武さんから



「春・行事」  
川辺 広子

# うちの子も元気です



今月のかわいい  
うたっ子をご紹介  
します。

ささき ゆちが  
佐々木 結愛ちゃん

長女（11か月）～東光三区～

お母さんのひとこと  
少しやんちゃで、  
とても元気です。い  
つもお兄ちゃんの後  
をはいはいしながら  
追っかけています。  
いつまでも元気でや  
さしい子に育ててほ  
しいですね。



▲1月10日、ひよこスクールが歌志内幼稚園で  
開催され、参加した子どもたちは友だちとい  
っしょに遊具やおもちゃなどで遊び、一足早  
い幼稚園生活を体験しました。



▲1月7日から3日間、かもし岳スキー場で子  
どもスキー教室が開催され、子どもたちは指  
導員のていねいな指導により、最終日には斜  
面を滑り降りる事が出来るようになりました。



▲1月5日、年始の恒例行事の一つである消防  
出初式が公民館前で開催され、消防職員・団  
員による分列行進等が行われ、消防関係者一  
同、防火への意識を高める一日となりました。

図書館  
だより

42～6900

## 行 事

### ■移動どうわ会

- ▼とき 2月7日（金）15時
- ▼ところ 神威児童センター
- ▼内容 本の読み聞かせ、紙しばい、工作
- 移動としよかん
- ▼とき 2月26日（水）14時30分
- ▼ところ 歌神94番地（歌神三区）詳細についてはお問い合わせください。
- ▼とき 2月27日（木）
- ▼ところ
- ▼楽生園 14時30分
- ▼給食センター 15時45分
- ▼市民体育館 16時15分

※図書館では、移動としよかんの開催場所を募集しています。詳しくは図書館までお問い合わせください。

### 読んでみませんか？

『三陸の海』（津村節子 著）  
三陸の海を愛し、小説の題材にしたり、明治から昭和の記録

をとおして大津波への警告を発したりしていた作家、吉村昭。その妻であり共に小説家として歩んできた著者が、亡き夫との想い出を胸に、震災後の三陸を巡った愛の記録。

『書楼吊堂 破曉』（京極夏彦 著）

明治20年代。文明開化が進む中、本を弔うという怪しげな本屋・弔堂には、ただ1冊の本を求めて、幕末から明治にかけて活躍した名士たちが次々と訪れていた……。長編小説。

『村上海賊の娘 上・下』（和田竜 著）

『獅子の城塞』（佐々木謙 著）

### 北門文庫コーナー

『のぼらの村のものがたりシリーズ 全8巻』（ジム・パークレム 作 岸田衿子 訳）

のぼらの村は、ねずみたちが暮らす自然豊かな村です。春のピクニックや冬至のお祭りなど、季節ごとの催しを楽しむ村の暮らしを、小物や料理、草花などを細かく描き込んだ美しい絵で表現した絵本です。

『よーいどんけついつとうしよ』（梅田俊作、梅田佳子 作・絵）